

2 . 工作物の新築、改築または増築

2 - 1 煙突、ごみ焼却施設、アンテナ、鉄筋コンクリート造りの柱、鉄柱その他これらに類するもの、記念塔、電波塔、物見塔その他これらに類するもの及び高架水槽

(1) 敷地内における位置

・周辺に与える威圧感及び突出感を軽減し、修景緑化を図るための空地を確保するため、敷地境界線から極力後退する。

景観区：

【解 説】

参照： P 1 「 1 . 建築物の新築、改築または増築 1 - 1 敷地内における位置」

工作物などは周辺の景観に圧迫感や威圧感を与えることがないように、できるかぎり敷地境界線から後退します。特に道路などの公共用地に接する敷地境界線からはできるかぎり大きく後退し、建築物などの威圧感・圧迫感を軽減するだけでなく、ゆったりとした道路景観を形成します。

また、同一敷地内に複数の工作物などが設置される場合は、なるべく 1 箇所にとめるよう配慮します。



敷地境界線から後退し、植栽を行なうことで道路への威圧感、圧迫感を軽減した機械式駐車場の例

(2) 形態・意匠

・すっきりとした形態及び意匠とする。

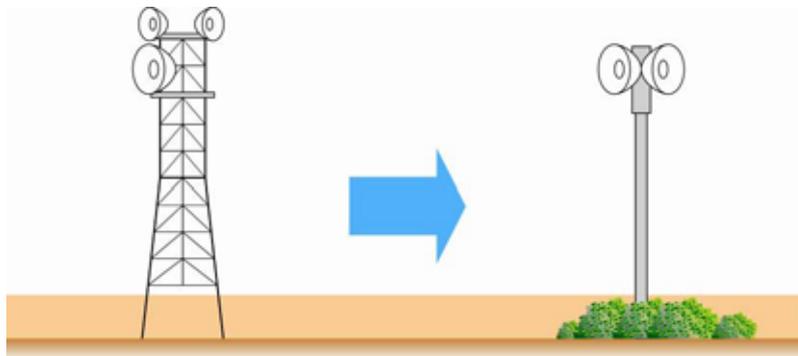
景観区：

【解説】

参照： P6 「1. 建築物の新築、改築または増築 1-2 形態・意匠」

工作物の形態・意匠については、周辺景観との調和が得られるよう、機能と構造強度を考慮したうえで、構造体そのものをスマートなデザインとしたり、ルーバーの取り付けなどの景観的処理を行うことで、できるかぎりすっきりとした印象となるよう配慮します。

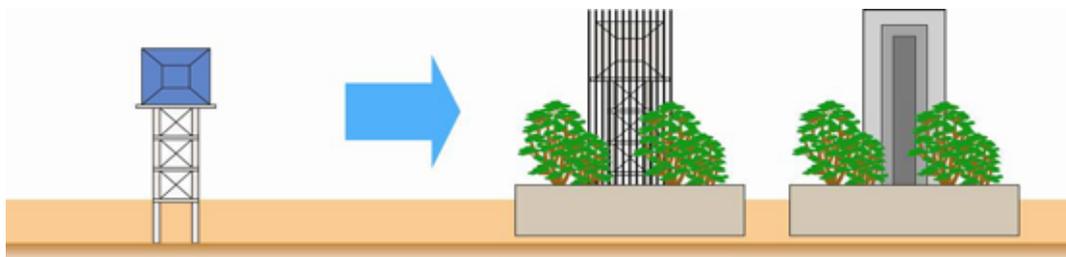
<電波塔の場合>



<煙突の場合>



<高架水槽の場合>



2
工作物の新築、
改築
または増築

(3) 色彩

・落ち着いた色彩で周辺景観との調和を図る。

景観区：

【解説】

参照： P17 「1. 建築物の新築、改築または増築 1-3 色彩

周辺景観との調和が得られるよう、鉄塔などのフレーム状の形態をもつ工作物の色彩は、山間部など緑の自然豊かな地域においては焦げ茶色、それ以外は灰色（亜鉛メッキ色）を基本とします。亜鉛メッキの光沢が、景観を阻害する要素となる恐れがあるため、メッキ後にリン酸処理を施したり、耐候性鋼材を使用してメッキを省略するなど、周辺の景観と調和するよう配慮します。

原則として、計画地を中心に概ね半径 5km 以内の範囲にある主要な視点場（不特定多数の人が利用する道路や公園、公共施設など）から望見した場合に、背景となる景観の大半が天空であれば灰色（亜鉛メッキ色）に、山並みや樹林であれば焦げ茶色と判断します。



背景となる景観に合わせて灰色に着色した例



背景となる景観に合わせて焦げ茶色に着色した例

なお、高さが 60メートル以上の鉄塔など、航空法により赤白の着色（昼間障害標識）もしくは高光度航空障害灯又は中光度白色航空障害灯の設置が求められる場合は、なるべく高光度航空障害灯又は中光度白色航空障害灯とし、周辺の景観との調和に配慮します。

主要な視点場：湖岸、湖上、湖岸道路、琵琶湖近傍の史跡名勝などにおいて不特定多数の人が利用する場所

- ・レクリエーション施設（眺望台、公園、水泳場など）
- ・公共公益施設（博物館、公民館、運動施設、道の駅など）
- ・自然公園、都市公園施設（湖岸緑地他）
- ・史跡名勝（史跡、神社仏閣他）
- ・交通施設（港湾、湖岸道路、航路など）

(4) 敷地内の緑化

・ 周囲への威圧感や突出感を和らげるよう、高さを勘案した樹種及び樹木を選び、植栽位置を考慮する。

景観区：すべて

・ 植栽は、自然植生を考慮し、周辺環境と調和する樹種とする。

景観区：すべて

【解説】

参照： P30 「1. 建築物の新築、改築または増築 1-5 敷地内の緑化」

施設の規模、形状に合わせ、敷地内の緑化を積極的に施します。

敷地の外周部は、道路から容易に望見できないよう、遮蔽性の高い生垣などで緑化します。また、常緑の中高木をとり入れた緑化により、1年を通して修景の効果が上がるよう、配慮します。

ただし記念塔などで、周辺の景観を引き立たせ、地域の良好なシンボルとなると判断され、かつ、樹木の植栽が好ましくない場合は、その限りではありません。

(5) 樹木などの保全

・樹姿又は樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、修景に生かすよう配慮する。ただし、これにより難しい場合は、移植の適否を判断し、その周辺に移植するよう努める。移植後は十分な管理を行い、樹勢の回復を図る。

景観区：すべて

・敷地内に生育するヨシ原などは、保存するよう努める。

景観区：緑

【解説】

参照： P42 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 6 樹木などの保全」

琵琶湖のヨシ原（群落）は、魚や鳥などの住処であるとともに、琵琶湖とともにある大津らしい風景のひとつでもあります。このヨシ原（群落）を健全に維持管理するために、昔から人々の生活に密着して冬の刈取り、火入れなどの作業が行われていおり、人々の生活に基づいた風物詩となっています。

近年の社会変化の中で、その貴重なヨシ原（群落）は減少傾向にあることから、ヨシ原が敷地内にある場合は、できるかぎり保存するように努めます。



雄琴付近のヨシ原



2 - 2 彫像その他これに類するもの

(1) 形態・意匠・色彩

- ・周辺景観に調和した形態及び意匠とし、けばけばしい色彩としない。

景観区：すべて

【解説】

参照： P 6 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 2 形態・意匠」
P 17 「 ” ” 1 - 3 色彩」

彫像やモニュメントなどの形態・意匠は、原則として地域の景観になじみ、その景観を引き立たせるようなものとします。色彩についても、原則として地域の景観を阻害するけばけばしい色彩のものは避けます。やむを得ず特異なものを設ける場合は、道路から容易に望見できない位置に設けるか、敷地外周部に遮へい措置を講じます。

ただし周辺の景観を引き立たせ、地域の良好なシンボルとなると認められる場合や、芸術作品展などの開催に伴い一時的に設置するものは除きます。

2
工
作
物
の
新
築
、
改
築
ま
た
は
増
築

(2) 敷地内の緑化

- ・修景緑化を施す。

景観区：すべて

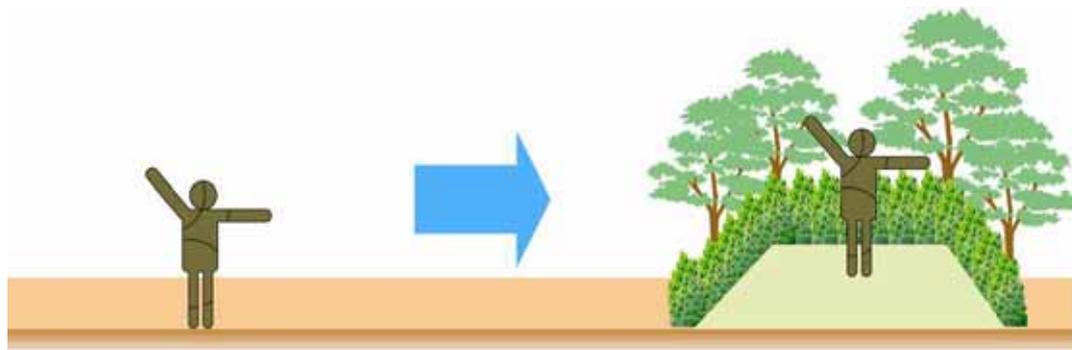
- ・植栽は、自然植生を考慮し、周辺環境と調和する樹種とする。

景観区：緑

【解説】

参照： P 30 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 5 敷地内の緑化」

彫像を引き立たせるとともに、周辺景観との調和を図るため、積極的に敷地内を緑化します。特に道路から後退してできる空地は、緑化に努めます。





周辺の景観に調和した落ち着いた色彩の彫像の例



周辺の景観に調和した落ち着いた色彩、形状の彫像の例



積極的な緑化により、彫像を引き立たせるとともに、周辺景観との調和を図った例

2 - 3 汚水または廃水処理する施設の新築、改築または増築

(1) 敷地内における位置

- ・敷地境界線から極力後退する。

景観区：

【解説】

参照： P 3 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 1 敷地内における位置」

(2) 形態・意匠

- ・平滑な大壁面が生じないように、陰影効果に配慮するとともに、外部に設ける配管類は、目立たなくする。

景観区：

【解説】

参照： P 6 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 2 形態・意匠」

汚水、廃水処理施設の壁面は、周辺地域に圧迫感や威圧感を与えないよう、陰影効果を考慮して、表面の形状や色彩・素材などを工夫します。また、むき出しとなった配管類は、本体と同色の塗装を施したり、道路から見えにくいところにまとめることで、雑然とした印象を軽減します。

(3) 色彩

- ・けばけばしい色彩とせず、落ち着いた色彩で周辺景観との調和が得られるものとする。

景観区：

【解説】

参照： P 17 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 3 色彩」

(4) 敷地内の緑化

- ・敷地外周部は、生垣などで緑化し、容易に望見できないようにする。

景観区：すべて

- ・常緑の中高木を取り入れた樹木により修景緑化を図る。

景観区：すべて

- ・植栽は、自然植生を考慮し、周辺環境と調和する樹種とする。

景観区：緑

【解説】

参照： P 30 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 5 敷地内の緑化」

施設の規模、形状に合わせ、修景緑化を積極的に施します。

敷地の外周部は、道路から容易に望見できないよう、遮蔽性の高い生垣などで緑化します。また、常緑の中高木をとり入れた緑化により、1年を通して修景の効果が上がるよう、配慮します。



樹木により遮へいすることで、周辺景観に与える影響を軽減した例
敷地外から見たところ（左）と敷地内の様子（右）

(5) 樹木などの保全

- ・敷地内の樹林は、保存するよう努める。やむを得ず伐採するときは、必要最小限にとどめる。

景観区：すべて

- ・樹姿又は樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、修景に生かすよう配慮する。ただし、これにより難しい場合は、移植の適否を判断し、その周辺に移植するよう努める。移植後は十分な管理を行い、樹勢の回復を図る。

景観区：すべて

- ・敷地内に生育するヨシ原などは、保存するよう努める。

景観区：緑

【解説】

- 参照： P42 「1. 建築物の新築、改築または増築 1-6 樹木などの保全措置」
P46 「2-1 煙突、ごみ焼却施設、アンテナ、鉄筋コンクリート造りの柱、鉄柱その他これらに類するもの、記念塔、電波塔、物見塔その他これらに類するもの及び高架水槽 (5) 樹木などの保全」

2 - 4 メリーゴーラウンド、観覧車、飛行塔、コースター、ウォーターシュートなどの遊戯施設の新築、改築または増築

(1) 敷地内における位置

- ・周辺に与える威圧感及び異様さを軽減し、空地を確保するため、敷地境界線から極力後退する。

景観区：すべて

【解説】

参照： P 1 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 1 敷地内における位置」

(2) 敷地内の緑化

- ・外周部は、規模に応じた樹木で、周辺景観との緩衝帯となる植栽を行う。

景観区：すべて

- ・植栽は、自然植生を考慮し、周辺環境と調和する樹種とする。

景観区：緑

【解説】

参照： P 30 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 5 敷地内の緑化」

これらの施設は、周辺の景観と調和しにくく、形態・意匠・色彩の面から特殊な景観となることから、周辺景観に与える影響を和らげるため、できるかぎり遮蔽に努めるとともに、積極的な修景緑化などを行います。

これらの施設には、観覧車など眺望を目的とした施設や相当の高さを有する施設など、遮へいが不可能な施設もあるため、施設外周部にボリュームのある緑化措置を講じることで、周辺の景観からの突出感を緩和します。

これらの施設により、あえて特徴的な景観をデザインする場合においても、周辺景観とのバランスに配慮します。

遊園地などにおいては、施設の用途上、さまざまな種類の樹木が植栽されることが予想されますが、敷地境界線に面した部分と湖岸や湖岸道路に接する部分については、特に自然植生に配慮したものとします。



(3) 樹木などの保全

- ・樹姿又は樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、修景に生かすよう配慮する。ただし、これにより難しい場合は、移植の適否を判断し、その周辺に移植するように努める。移植後は十分な管理を行い、樹勢の回復を図る。

景観区：すべて

- ・敷地内に生育するヨシ原などは、保存するよう努める。

景観区：緑

【解説】

- 参照： P42 「1. 建築物の新築、改築または増築 1-6 樹木などの保全」
P46 「2-1 煙突、ごみ焼却施設、アンテナ、鉄筋コンクリート造りの柱、鉄柱その他これらに類するもの、記念塔、電波塔、物見塔その他これらに類するもの及び高架水槽 (5) 樹木などの保全」

2 - 5 アスファルトプラント、コンクリートプラント、クラッシャープラントその他これらに類する製造施設 及び石油、ガス、LPG、穀物、飼料などを貯蔵する施設 その他これらに類するもの

(1) 敷地内における位置

- ・周辺に与える威圧感及び突出感を軽減するため、敷地境界線から極力後退する。

景観区：すべて

【解説】

参照： P 1 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 1 敷地内における位置」

(2) 意匠

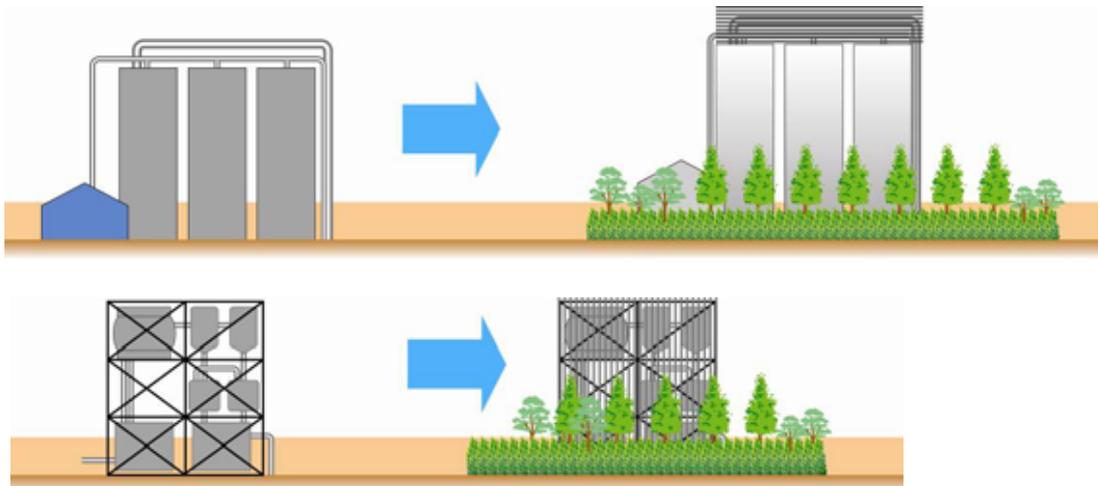
- ・壁面、構造などの意匠が周辺景観に調和するよう配慮し、外部に設ける配管類は、目立たなくする。

景観区：すべて

【解説】

参照： P 6 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 2 形態・意匠」

これらの工作物の壁面は、周辺地域に圧迫感や威圧感を与えないよう、陰影効果に配慮します。また主となる構造や施設に付属するむき出しとなった配管類やコンベアー類は、構造体そのものの形態を見直したり、道路から見えにくいところへの配置、ルーバーの取り付け、本体と同色の塗装などの景観的処理を行うことで、できるかぎりすっきりとした印象となるよう配慮します。



(3) 色彩

- ・落ち着いた色彩で周辺景観との調和を図る。

景観区：

【解説】

参照： P17 「1. 建築物の新築、改築または増築 1-3 色彩」

(4) 敷地内の緑化

- ・周囲への威圧感や突出感を和らげるよう、高さを勘案した樹種及び樹木を選び、植栽位置を考慮する。

景観区：

- ・植栽は、自然植生を考慮し、周辺環境と調和する樹種とする。

景観区：

【解説】

参照： P30 「1. 建築物の新築、改築または増築 1-5 敷地内の緑化」

(5) 樹木などの保全

- ・樹姿又は樹勢が優れた良好な樹木がある場合は、修景に生かすよう配慮する。ただし、これにより難しい場合は、移植の適否を判断し、その周辺に移植するように努める。移植後は十分な管理を行い、樹勢の回復を図る。

景観区：

- ・敷地内に生育するヨシ原などは、保存するよう努める。

景観区：

【解説】

参照： P42 「1. 建築物の新築、改築または増築 1-6 樹木などの保全」

P46 「2-1 煙突、ごみ焼却施設、アンテナ、鉄筋コンクリート造りの柱、鉄柱その他これらに類するもの、記念塔、電波塔、物見塔その他これらに類するもの及び高架水槽 (5) 樹木などの保全」

2 - 6 電気供給のための電線路、有線電気通信のための線路又は空中線系（その支持物を含む。）の新築、改築または増築

（１）位置

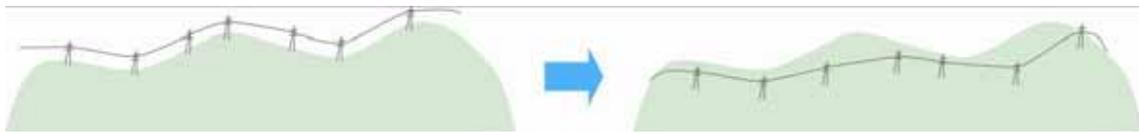
- ・山稜の近くでは、稜線のシルエットを乱さないよう、尾根から極力低い位置とする。

景観区：すべて

【解説】

本市の景観の特徴である山並の尾根線の美しいシルエットに配慮し、送電鉄塔は、山りょうの近傍にあっては、稜線を乱さないよう、尾根からできるかぎり低い位置とします。

横断するものについてはその限りではありません。



稜線を乱さないよう、尾根からできるだけ下げて設置した例

(2) 形態・色彩

・雑然とした景観とならないよう配慮し、落ち着いた色彩とする。

景観区：

【解説】

送電線鉄塔が林立することにより雑然とした景観とならないよう、形態の簡素化を図ります。

色彩は、周辺との調和に配慮した落ち着いた色彩とし、季節による周辺の色の変化を考慮して色調を決めます。

鉄塔などのフレーム状の形態をもつ工作物の色彩は、山間部など緑の自然豊かな地域においては焦げ茶色や暗緑色、立体的な背景の少ないところにあっては天空になじませるためグレー系の亜鉛メッキした後にリン酸処理を施し、くすんだ外観とすることを基本とします。

また、亜鉛メッキの光沢を抑えるため、耐候性鋼材を使用してメッキを省略するなどの対応も考えられます。

(関連：2 - 1 煙突、ごみ焼却施設、アンテナ、鉄筋コンクリート造りの柱、鉄柱その他これらに類するもの、記念塔、電波塔、物見塔その他これらに類するもの及び高架水槽(3)色彩)



背景の山並みの景観に配慮し、焦げ茶色とすることで、周辺の景観と調和させた例



基部の緑化により鉄塔の持つ圧迫感を軽減させ、周辺景観との調和を図った例

2 - 7 その他

都市河川沿岸景観区・自然河川沿岸景観区の基準は、個々の景観区の基準に加えて配慮するものです。

河川沿岸景観区における工作物は、以下の基準に配慮します。

(1) 敷地内の緑化

- ・河川に面する敷地内の空地は、適切な緑化を行うことなどにより、緑豊かなものとする。

景観区：都河・自河

- ・河川側の敷地境界から極力後退し、低・中木又は生垣による緑化を行うことにより、背後の山並みと一体的な自然景観を形成するよう工夫する。

景観区：都河

- ・河川側の敷地境界から極力後退し、低・中木又は生垣による緑化を行うことにより、周囲の田園風景や背後の山並みと一体的な景観を形成するよう工夫する。

景観区：自河

【解説】

参照： P30 「1. 建築物の新築、改築または増築 1 - 5 敷地内の緑化」